

合気道不老会 2024 年 定期総会 議事録

1. 開催日時: 2024 年 3 月 2 日 (土) 10:00-
2. 開催場所: オンライン (Zoom)
3. 報告事項
 - 3-1. 周年記念行事の進捗状況について [資料 3-1]
 - 3-2. 不老会通信の発行状況について
 - 3-3. 合気道清緑会の稽古開催状況について
4. 審議事項
 - 4-1. 現役学生の状況と 2024 年度の支援方針について [資料 4-1-1, 4-1-2]
 - 4-2. 2022 年度会計監査報告について [資料 4-2]
 - 4-3. 2023 年度決算案について [資料 4-3]
 - 4-4. 2024 年度予算案について [資料 4-4]
 - 4-5. 不老会年会費の納入方法の複線化の是非について

3. 報告事項

【3-1. 周年記念行事の進捗状況について】

担当幹事の岡山（14代）より、2022年度の総会で45周年記念行事の見送りが決議されたことを受け、50周年記念行事に向けて、例年通り、2万円ずつ積立てることが報告された。

【3-2. 不老会通信の発行状況について】

担当幹事の伊藤（16代）より、2023年7月と2024年2月の2回、通信を発行したこと、今後も継続的な発行を目指すことが報告された。また、41代以降の連絡係として、永田（41代）が加わったことが報告された。

【3-3. 合気道清緑会の稽古開催状況について】

担当幹事の石原（23代）より、名古屋市の北スポーツセンターや東スポーツセンターなどで、2023年中、土日を中心に63回の清緑会の稽古会が開かれたこと、寺西鎮男先生や現役学生の参加も得られたことなどが報告された。また、2024年4月以降は現役学生の稽古の場にも寺西先生をお呼びできるよう打診中であることが報告された。さらに、事務局の足立（27代）より、不老会のウェブサイト上で過去の稽古の開催場所や日時の記録、今後の予定が確認できることも紹介された。

4. 審議事項

【4-1. 現役学生の状況と 2024 年度の支援方針について】

担当幹事の山口（33 代）より、議案書の内容に即して説明がなされた。審議において意見や指摘は提起されなかったため、原案通り、賛成多数で承認された。

【4-2. 2022 年度会計監査報告について】

事務局の足立（27 代）より、服部（27 代）による監査報告の代読があり、賛成多数で承認された。

【4-3. 2023 年度決算案について】

担当幹事の小林（33 代）より、議案書の内容に即して説明がなされた。特に、2023 年度は、初の試みとして開催された七大学合同稽古への参加を補助したため、現役活動支援が 96,099 円と例年より高額になったこと、他方、会員への呼びかけが功を奏し、会費や寄付による経常収入が増加したため、当初の想定より赤字幅が縮小したことが報告された。審議において意見や指摘は提起されなかったため、原案通り、賛成多数で承認された。

【4-4. 2024 年度予算案について】

担当幹事の小林（33 代）より、議案書の内容に即して、2024 年度については例年通りの予算案が組まれていることが報告された。また、山口（33 代）より、現役学生支援にかかる予算について補足の説明もなされた。審議において、以下の諸点が提起された。

- ・現役学生支援の予算枠としては 60,000 円ほど確保していたが、現役学生からの申請額は 49,000 円に留まった。ただし、緊急で必要な場合には、役員会の決算で臨時に支援できる規定があるため、11,000 円は余力がある。
- ・2024 年度の七大学合同稽古は東京都で開催される予定だが、不老会の財政状況が厳しいということは現役学生も理解しており、2 回生 6 名が自費で参加することを決めたとのことである。
- ・今後、安定的に現役学生を支援していくための方策として、たとえば、①年会費を 4,000 円に値上げする、②普段は稽古に参加できないが現役学生の支援には協力したいという有志のために年会費 1,000 円のサポート会員を設ける、③従来からある寄付の呼びかけをさらに積極的に行なう、などといった案が提起された。
- ・ここ数年、4 回生を対象に不老会への入会の呼びかけを継続的に行なってきたが、応答があるのは半分以下である。
- ・いずれにせよ、不老会の収支の改善を、中長期的な視点に立って図っていく必要がある。

以上の諸点を確認のうえ、原案通り、賛成多数で承認された。

【4-5. 不老会年会費の納入方法の複線化の是非について】

担当幹事の有賀（19 代）より、議案書の内容に即して説明がなされた。その際に提起された主な論点は以下の通りであった。

- ・現状、会費の納入方法が不老会のゆうちょ銀行口座への振込のみであるため、他の納入方法も導入することで、会費の納入率が上がらないか、試みたい。
- ・**利便性の高い有望なサービスとして、**入会費・維持費が無料で、（初回登録料 500 円かかるが）年 1 回自動で口座振替してくれ、アカウントの作成に法人格が問われず名義変更が容易な「**会費ペイ**」というものがある。
- ・支払いに対する手数料がかかるが、試行的に導入してみて、利用率によって継続するかどうかを検討することを提案したい。
- ・誰が会費を支払ったのか、アカウントの作成者に連絡が入る。
- ・これまでも安定的に納入した実績がある会員に関しては、現在のように口座振込のほうが不老会の収入としては利益が多い。
- ・これまで**会費を納入した実績がない会員が、このサービスを導入することで新たに納入してくれるようになることを期待**したい
- ・会費納入の複線化を試行的に図り、そのことを通信やウェブサイトなどで周知していく方法を探りたい。

以上の諸点を確認のうえ、原案通り、賛成多数で承認された。

【総会終了後の意見交換において提起された論点について】

全ての議事が終了した後、参加者同士で率直な意見交換がなされた。今後の不老会の維持発展にとって**重要な論点と考えられるものを、以下に記載**しておく。

- ・現在の役員会・事務局の任期は規約上、2025 年 3 月までとなっており、ここから 1 年かけて、**次期を担える役員・事務局員の候補者を選定し、依頼をかけていく必要がある。**
- ・業務の引継という観点からいえば、現在、清心館のご厚意で利用させていただくことで成り立っている**一斉連絡用のメーラーのシステムも、他のサーバ・コンピュータを借りて機能を移転していく必要がある。**
- ・ただし、これは必然的に名古屋大学合気道部および合気道不老会のウェブサイト用のサーバ・コンピュータの変更とほぼ同義となるため、現役学生とも相談しながら慎重に進めなければならない。
- ・また、メール・アドレスを提供しているプロバイダのなかには、Google のメール・サーバにセキュリティ上の問題から迷惑メールとしてはじかれるものもあるため、注意が必要である。
- ・**現在利用しているプロバイダとは、名古屋大学合気道部の名義で 2027 年頃まで契約しているはずなので、たとえば、「さくらインターネット」など、有望なプロバイダへの切り替えを検討しつつ、段階的に移行していくのが望ましいだろう。**
- ・引継のことは見据えると、たとえば、**次回の役員会・事務局のオンライン打合（5 月頃開催か？）を全会員に向けて公開するなども試みてもよいかもしれない。**